

14. 豊南町地区まちづくり協議会への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）5 月 19 日（木）19 時～

○場 所：豊南会館

質問・意見等	豊中市からの回答
<p><b>子どもの減少に端を発して学校再編の話が出ていると認識しているが、豊南、高川も同様に減少しているのではないか。</b></p>	<p>ご指摘のとおり豊南小学校、高川小学校とも小規模化しており、課題があることは認識しています。しかし、庄内地域との差異（分割校がない、天竺川以東の地域性等）を考慮し、まずは庄内地域で学校再編等を行い、そこでの成果も踏まえて豊南小学校、高川小学校の課題解消に向けた対応を行っていきたいと考えています。なお、高川小学校と隣接する複合施設（図書館等）については、（仮称）南部コラボセンターのサテライトとして自習スペースの整備を予定しています。庄内地域における北校と（仮称）南部コラボセンターが隣接しており、学校と複合施設の連携の参考になると考えています。</p>
<p><b>新しい学校になれば通学距離が延び、小さい子どもたちは負担が大きいのではないか。</b></p>	<p>地図上で計測したところ、稲津町から庄内小の敷地まで約 2km あり、1 年生の子ども足だと 30 分ほどかかると思われます。通学路の設定などまだまだ検討すべき事項があります。なお、能勢町のささゆり学園の場合、目安として 3km を超える場合はスクールバスを出しています。仮にスクールバスを出したとしても、朝起きられない子どもの対応など、他にも検討すべき点は多々あります。</p>
<p><b>1 年生から 9 年生が一緒になると何がどう変わるのか。</b></p>	<p>小中一貫教育の事例は全国的にあり、平成 26 年度の全国調査結果によると 211 自治体、1,130 件もの取組事例があります。そこでは、異学年交流などが行われており、生活指導上の成果も上がっています。豊中市としては、そうした事例も踏まえて、小中一貫教育に注力したいと考えており、できれば案 1 の施設一体型の学校をつくっていきたいと考えています。</p>
<p><b>跡地がたくさん生まれるが、どうするつもりか。</b></p>	<p>跡地については、具体的にはまだ何も決まっていません。これから、例えば、防災、子育て、地域コミュニティ、就労支援など様々な観点から跡地利用について検討していく必要があると考えています。</p>